

すべての労働者の立場にたって働き方を見直そう！
「底上げ・底支え」「格差是正」でクラシノソコアゲ！

2018春季生活闘争 政策・制度 要求実現3.5中央集会

日 時：2018年3月5日（月）18：30～19：30

場 所：後楽園ホール

【集 会 次 第】

1. 開 会 司会 内田 厚 中央闘争副事務局長
2. 中央闘争委員長決意表明 神津里季生 中央闘争委員長
3. 連合フォーラム議員の紹介
4. 共闘連絡会議代表者からの決意表明
 - ・金属 高倉 明 自動車総連会長
 - ・化学・食品・製造等 平川 純二 JEC連合会長
 - ・流通・サービス・金融 松浦 昭彦 UAゼンセン会長
 - ・インフラ・公益 増田 光儀 JP労組委員長
 - ・交通・運輸 難波 淳介 運輸労連委員長
5. 重点政策実現に向けた決意表明 野田三七生 政策委員会委員長（情報労連委員長）
6. すべての労働者の立場にたった「働き方改革」実現に向けた決意表明
岸本 薫 雇用法制委員会委員長（電力総連会長）
7. アピール（案）提起 永江光都子 中央闘争委員（サービス連合中央執行委員）
8. がんばろう三唱 相原 康伸 中央闘争事務局長
9. 閉 会



日本労働組合総連合会（連合）



集会の様様を生配信します！



2018春季生活闘争 政策・制度 要求実現3.5中央集会アピール(案)

われわれは、本集会において、賃上げ・働き方の改善をはじめとする、すべての働く者の処遇を「底上げ」する決意を改めて確認した。あわせて、社会全体の課題解決に向けて、われわれ自身の役割を認識・共有して取り組んでいく決意も確認した。

現在、要求を掲げたすべての労働組合は、月例賃金、とりわけ賃金の絶対水準にこだわった交渉を精力的に進めている。

特に、日本経済の屋台骨である中小企業で働く仲間と雇用労働者の約4割を占める非正規雇用で働く仲間の処遇改善は、日本経済を自律的に成長させるために不可欠である。何としても、賃上げを継続・拡大させ、賃金は上がっていくという常識を取り取り戻さなければならぬ。

そのためにも、「取引の適正化」と「サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配」を求める取り組みを、社会全体を巻き込んで、さらに定着・前進させていく。

同時に、長時間労働の是正や同じ職場で働くすべての労働者の雇用安定と均等待遇実現に取り組み、健全で安全で働きがいのある職場を実現していく。

さらに、働く者の「総合生活改善」のためには、春季生活闘争の「運動の両輪」である「政策・制度実現の取り組み」を働く者・生活者の立場から強力に進める必要がある。そのためにも、新たな枠組みである「連合 政策・制度推進フォーラム」の関係議員と連携し、すべての働く者の立場にたった「働き方改革」の実現や、すべての世代が安心できる社会保障制度の確立など、山積する重要政策課題の解決に向けて、組織の総力を挙げた運動を展開する。

2018春季生活闘争は最初のヤマ場を迎える。労使は社会的責任を果たすため、いよいよ答えを出す時である。すべての働く者の賃金の「底上げ・底支え」「格差是正」を実現し、「経済の自律的成長」「包摂的な社会の構築」「人的投資の促進」「ディーセント・ワークの実現」をはかるため、総力を結集し、最後の最後まで、ともに闘おう！

2018年3月5日

連合「2018春季生活闘争 政策・制度 要求実現3.5中央集会」